



“二〇二五年度定時社員総会 (評議員会) 終了する”

三月八日(土)にホテルノースシティにおいて開催された二〇二五年度の定時評議員会は、冒頭、道軟連功績賞を受賞した三名の方を表彰し開会しました。

議長には遠軽支部の須藤定行評議員を選出し、報告事項二件並びに協議事項五件について審議を行いました。収支決算報告では道連の厳しい財政状況を説明し、新年度予算(案)においては、各事業計画の内容を省略しないで日程の短縮を図ったり、各役員の派遣においても近隣にとどめるなどの見直しを行い、執行部として一層の経費削減に努め、財政健全化を図って行く旨の話がありました。

また、今年度で現役員の任期が切

道軟連会報

2025年度 前期号
2025.7.15
第87号
発行所
(一社)北海道軟式野球連盟
札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号
発行者 鎌田英暢
編集者 総務部
印刷所 岩橋印刷株式会社

れることと、二〇二七年度からの各支部負担金等を検討するため、役員選考委員会並びに財政検討委員会の設置を決め、それぞれ正副委員長を選出し、閉幕しました。

新しい支部役員紹介

小樽支部 技術員



齋藤幸弘氏
(昭和37年 5月29日生)

平成二十二年公認審判員二級取得
平成二十九年公認審判員一級取得
令和七年北海道軟式野球連盟小樽支部技術員

支部技術員

千歳支部 支部長



太田憲之氏
(昭和55年 7月14日生)

平成二十一年千歳市議会議員
平成二十七年北海道議会議員
令和七年千歳軟式野球連盟会長
令和七年千歳支部支部長

千歳支部 審判部長



菊池智彦氏
(昭和40年 11月19日生)

平成二十二年公認審判員二級取得
平成二十四年公認審判員一級取得
平成三十一年北海道軟式野球連盟千歳支部技術員
令和七年千歳支部審判部長

南空知支部 評議員



秦野嘉寿彦氏
(昭和37年 6月19日生)

平成二十六年公認審判員二級取得
令和二年南空知支部副理事長
令和七年公認審判員一級取得
令和七年南空知支部評議員

支部トピックス

千歳支部

令和七年度

千歳支部審判講習会開催

千歳支部では、四月二七日（日）に新支部長の太田氏を迎えて講習会を実施しました。

参加人員は約三十名で、講師は昨年から菊地技術員と一緒に技術員講習に参加している田島審判員が学科・実技を担当しました。座学終了後、実技会場の青葉球場へ移動し、四つの班に分かれて午前中は準備運動とゴ－・ストップ等の基礎動作を行いました。午後からは本塁から順次三塁までの説明を受けた後に、各班毎に各塁での動きを確認してキャンプゲームに移行しました。

ゲームには千歳市内の中学生クラブチーム「BC千歳」に協力してもらい、四人のクルーで三アウトまで実施し、より実践的な訓練ができました。各審判員にとって充実した貴重な一日となりました。



座学及び基礎訓練



千歳支部講習会

また前日には、三年前から行っている学童指導者に対しての講習会も実施しています。この講習会を受講した学童指導者から、連盟審判員になる人も増えてきています。

（千歳支部リポーター 中石 勲）

石狩支部

支部定時評議会を開催

去る四月一九日（土）に支部定時評議会を開催し、令和六年度事業報告・決算報告及び令和七年度事業計画・予算等の審議を行いました。

昨年度は、第七八回国民スポーツ大会SAGA二〇二四国スポ軟式野球競技会北海道大会にて、見事J A道央野球部が優勝し、令和五年度の天皇賜杯に続いて全国大会に出場するという快挙を達成してくれ



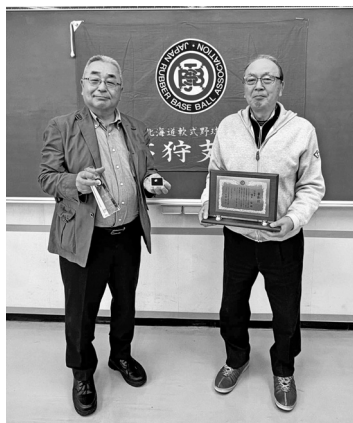
講師の田島審判員によるキャンプゲームの説明

た年でありました。

また、本年三月には、長年にわたって当支部を牽引いただいたきた当支部顧問の鎌倉猛氏が、北海道軟式野球連盟の功績賞を受賞され、当支部評議会の開催に際して、出席された道連の鎌田理事長から表彰をいただきました。

功績賞を受賞された鎌倉顧問は、長らく当支部の三役等を務められ、七八歳となる本年も中体連をはじめ、各種大会で審判員として現場に立っていただくこととなっています。これからも、石狩支部を見守り、叱咤激励していただきたいと、役員一同、胴上げは出来ませんでした。が、心からお礼と受賞の祝福をしたところです。

なお、評議会では、本年七月に当支部での開催を予定している高松宮賜杯第六九回全日本軟式野球大会（一・二部）南・北海道大会の運営スケジュールの確認や、マスターズにおける資格要件の取扱いなどについて意見交換がされたほか、技術・審判部からは、投手の一二・二〇秒ルールや頭部にヒット・バイ・ピッチを受けた際の対応など、今年度の競技者必携改正点の



確認を行いました。
最後に、事業の推進にあたり、競技マナーの指導徹底をはじめ、円滑な大会運営など、一年間の活動を全員で確認し、終了したところです。
(石狩支部リポーター 眞鍋 慎治)

南空知支部

二〇二五年シーズン開幕 (交流大会)

北空知支部と南空知支部の交流大会として、二十四回目を数える全空知軟式野球選抜選手権大会が五月三十一日、南空知支部が主管となり美唄市営野球場において開催されました。

本大会につきましては、両支部のAクラス四チームによるもので開催地及び大会運営を隔年で、それぞれが担当し開催しています。

当日は、好天に恵まれシーズン初めとしては、グラウンドコンディションも良く熱戦が繰り広げられました。

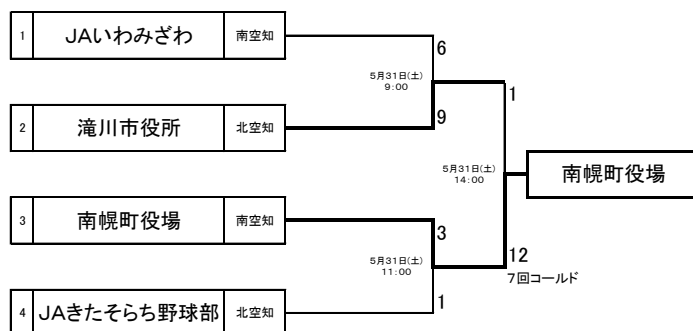
決勝戦は滝川市役所(北空知)と南幌町役場(南空知)となり、打撃が爆発(ホームラン一本、三塁打二本、二塁打四本)した南幌町役場が優勝しました。

また、本大会は交流大会でありますので、審判員も北空知支部から四名の派遣をいただき、試合での取り決め事項や審判員の動きの確認をするなど、熱心に意見交換を行う場

面もあり、シーズンはじめとしては、実りある大会となりました。

(南空知支部リポーター 西脇圭二)

第24回全空知軟式野球選抜選手権大会 結果



旭川支部

野球シーズン到来

旭川支部においては、野球シーズンを前に審判を対象に講習会を実施している。



今年は、座学による講習会を三回実施し、事例を交えた規則書の適用、アナウンス部への伝達方法の確認等を実施した。

また、実践形式による講習会として、道北ブロック講習会をはじめ、支部審判員、中学校・学童・一般チー



講習会風景

ムを対象に、審判員の基礎である審判員としての心得の確認、各塁における判定の立ち位置、打球の判定範囲等基本的な動作の確認を行い、ノック形式により実践形式での判定を繰り返し実施した。

旭川支部の審判員の現状から、例年のごとく、審判員が不足しており、学童・一般のチームからのチーム審判員制度を導入し、審判不足を補って大会が運営されている。

今年の支部予選大会は、四月二十七日から開催されている。

(旭川支部リポーター 山保温史)



講習会風景

『二〇二五全国女性審判員講習会に参加して』

二〇二五年四月二六日から二七日の二日間、静岡県伊豆市で開催された女性審判講習会に参加いたしました。

本講習では、技術委員や国際審判員、女性審判員の方々から直接ご指導をいただき、自身の技術や知識を再確認するとともに、さらなる向上を図る貴重な機会となりました。

また、全国から集まった女性審判員と、各支部での活動状況について情報交換を行い、大変有意義な時間を過ごすことができました。

を過ごすことができました。

女性が審判員として活躍する場が着実に広がっていることを実感し、大きな励みとなりました。

今後の審判活動にしっかりと活かし、より一層の技術向上と競技への貢献を目指して努めていきたいと考えております。

(旭川支部 伊藤沙千子)

網走支部

網走支部審判講習会を開催！

四月一日(日)各連盟審判員三九名の参加により、令和七年度網走支部審判講習会を開催しました。

呼人コミュニティセンターでの座学では、規則改正や競技者必携の改訂等を学び、その後、実技会場のオホーツクドームに移動し、田渕全日本軟式野球連盟技術指導員を始め網走支部審判技術委員会の委員を中心に四班に分かれ、清里中学校野球部の協力を得て実技を行いました。

ジェスチャーコールやゴーストップコールの基本動作のほか、球審の基本動作、各塁での基本動作を



行い、それぞれの場面に応じた動きを確認しました。

今年は、八月二三日（土）から三日間の日程で、北海道知事杯第二五回北海道軟式野球選抜選手権大会を網走支部が主管し開催されます。

審判員一同心を新たに大会の成功に向け、審判技術の向上に取り組んでいきます。

（網走支部事務局 堀田国男）

十勝支部

十勝支部審判講習会

令和七年度の十勝支部審判講習会を連休最終日の五月六日（火）に十勝管内の審判員、中体連指導者、学童指導者など、約六〇名の参加により開催しました。

午前中の座学を帯広の森野球場会議室で行い、今シーズンの規則改正、競技者必携の改訂等を確認しました。

その後、帯広の森平和球場に移動し、ジェスチャー・コールを何度も繰り返し行い、一般チームの協力をもとに球審のトラッキング、ストライク判定の練習、キャンプゲームで

のメカニクスなどを、十勝支部技術員の指導のもと熱心に取り組みました。

今シーズンも、六月にNPBガールズトーナメント、全日本中学女子大会、また七月には全日本少年軟式野球全道大会が十勝で開催されますので、参加選手の皆さんが気持ちよくプレー出来るように、審判員・役員全員で取り組んで行きたいと思います。

（十勝支部リポーター 小川敏也）



函館支部

二〇二五年度スタート

二〇二五年度の函館支部の役員は、全員留任で、変更がありません。支部のトピックス自体は、特にありませんが、去年は中学校の冠大会を一楽ライオンズ主催で開催しましたが、学童大会並びに中学校大会を、あと一つずつ開催したいと思っています。

函館支部の近況報告は、どの支部も同じだと思いますが、審判員の高齢化とともに人数不足で、各あさ野球大会・たそがれ野球大会・依頼審判・全道支部大会が重なり、非常に審判員の配置にいつも苦労している所です。

審判員の募集は、中々思うように集まらず、新聞広告やホームページなどに掲載していますが、思うようにいきません

（函館支部事務局 関口隆）

各部近況報告

育成強化部

『日本スポーツ協会軟式野球公認コーチ講習会、成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会等を開催』

今年度は、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供する者を養成するため、札幌市中島体育センターにて「日本スポーツ協会軟式野球公認コーチ1養成講習会」（二〇二六年四月付け資格認定）を十月十一日（土）、十二日（日）、十三日（月）の三日間実施いたします。

また、将来性のある子どもたちが、スポーツ障害に悩まされることなく、将来にわたって継続的に野球を楽しむよう、スポーツ障害について基礎的な知識を理解する、軟式野球少年部・学童部指導者および選手保護者や連盟関係者向けの「成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会・コーチ養成講習会」を砂川市

公民館にて十月二十六日（日）に実施いたしますので、加盟チーム関係者等のご参加をよろしくお願いいたします。

そのほか、「全道少年軟式野球大会」参加チームへの肘肩障害予防検診を八月一日（金）に「札幌つどいむ」で実施するとともに、「滋賀国民スポーツ大会」強化事業により北海道代表チームの躍進に向けた強化事業を行います。

（育成強化部 森田康晴）



編集後記

誰もが知っている格言に「継続は力なり」という言葉があります。例えば、企業の新入社員研修の題材などで使われ、アスリートなどが座右の銘にこの言葉を選んで話している場面を多く見ることがあります。

この言葉には、二つの意味が有ると言われています。一つは「どんな小さなことであっても継続していればやがて大きな成果となる」二つ目は「継続することはそれ自体、力の証である」故に「継続」することが、やがて「力」となり、「継続」することとは、それ自体「力」と言えるだろう。

北海道軟式野球連盟は、令和八年四月で満八十年の節目を迎えます。昭和十五年に道内の有志が集い、軟式野球大会を開催し、昭和二十一年に組織化してから数えて八十年、幾多の苦難と喜びを経験され、後進に道を引

き継ぎながら道内二五支部とその所属市町村連盟の礎を築いてくれました。その諸先輩方々に感謝をし、今度は私たちが次世代へと繋ぐ使命をいただきました。昨年、北海道軟式野球連盟は、「一般社団法人」に改組しました。新たな組織として軟式野球競技の普及振興を継続しなければなりません。今後もチーム・選手・関係者そして、各連盟役員の方々のご理解とご協力を賜り、繋げていきたいと思っています。

長年、継続してきたこの会報も北海道野球に何かしらの「力」になっっている事と信じています。これから新たな継続が始まります。野球を愛する皆さんと共に歩みたいと思います。

追記

来年、八十周年記念誌の発行を予定しています。各支部からの寄稿をお願いいたします。

（道軟連副理事長 石井秀行）